






令和5年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

名 称	理数科キャリアデザインツアー	
期 日	令和5年10月4日（水）～6日（金）	
会 場	東京方面	
対 象	理数科 2年生	
目 的	<p>(1) 身近なものから最先端まで幅広い科学に触れ、興味・関心を持つことにより、科学の様々な分野に対する自分の考えをまとめる。</p> <p>(2) 興味を持った分野について探究活動を行い、その活動の中で生じた疑問点を、自分で解決していこうと努力する過程で、自ら学ぶ姿勢を身に付ける。</p> <p>(3) 研究者、卒業生との交流をとおして、自己を客観的に見つめ、これまでの生き方を振り返るとともに、自分自身の進路や将来設計についての意識(キャリア意識)を向上させる。</p> <p>(4) 訪問先で得た知識や興味を、『課題研究』に生かすとともに、学習の高い動機づけとする</p>	
内 容	<p>〔1日目〕・東京大学名誉教授 浅島 誠 様による特別講義 ・卒業生交流会（関東近郊の大学等に在学している卒業生との交流）</p> <p>〔2日目〕・班別企業訪問研修 ・国立科学博物館見学</p> <p>〔3日目〕・希望進路別研修 【A班】東京理科大学での模擬講義、模擬実習 【B班】サイエンス・スクエアつくば、JAXA 筑波航空宇宙センター見学</p>	
		
	浅島 誠 東京大学名誉教授による特別講義	東京理科大学での模擬実習
		 
	サイエンススクエアつくば見学	

感想など	<ul style="list-style-type: none"><li>• このツアーの中で現役の大学生や社会人の方々と触れ合い、自分の進路、就きたい職業を考える上でとてもためになりました。 その人たちが進路を決めた時の話を聞いて、進路を確定することができるだけ早い方が良いこと、確固たる意志を持っているような人はイメージしていたよりも少数派だったように思えたことなどを通して、自分の進路を決める助けになりました。</li><li>• 今回のキャリアデザインツアーは、多くのものや人と出会い、たくさん自分自身を見つめ直しました。その中で私は、世界には不思議や課題がまだ多く残されているということを感じました。これから、何度も自分のやりたいことは変わっていくのかもしれませんが、今回見た世界の多様さを思い出し、自分が本当にやりたいことを幅広い視点で考えていきたいです。</li><li>• キャリアデザインツアーに行って本当にたくさんのもに触れて視野が広がった。今まで興味がないと思っていたものはただ知らなかっただけかもしれないと思った。世界の見方が変わったし、鮮やかになった。自分の将来についても深く考える機会になり、未来がより鮮明になった。知らないものは怖いしつまらないと感じていて、つい拒否してしまっていたが、それを知ることはすごく楽しいし幸せなことだとわかった。</li><li>• キャリアデザインツアーに参加して1番大きかったことは、研究への興味が以前よりも増したことだと思う。安定した将来ではないと思うけど、知りたいことを、知らないことを、研究を通して知ることの感動を味わってみたい。また、東京理科大学の研究室では、出身国が違う人同士が研究をしていて、楽しそうに和気あいあいとしていたのが印象的だった。研究室で同じ目標に向かって試行錯誤していくことも楽しそうだと感じた。また、積極的に質問をした。知りたいことを知るためには手段を選ばない、そんな好奇心をこれからも大切にして生活していきたいと思った。</li></ul>
------	---